

特集  
大好きな家族と、いつまでも。

【表紙の写真】  
今日も一緒。ペットも家族だから

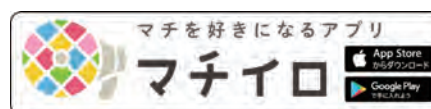
村のうごき (8月末現在 ※カッコ内は前月比)

人口 41,777 (+66)

男 20,553 (+21)

女 21,224 (+45)

世帯数 17,103(+45)





特集

## 大好きな家族と、いつまでも。

犬や猫は、飼っている人にとって家族の大事な一員です。しかし、エサを与えてかわいい姿を楽しむだけでは、責任のある飼い主とは言えません。



ペットを飼い始めたその日から、その命は飼い主に委ねられます。地域社会から受け入れられ、健康や安全が守られた生涯を送ることができるかは、飼い主の努力にかかっています。

今回の特集では、現在抱えている課題とそれに対する取り組み、飼い方のマナーなどについて、紹介します。



### え？狂犬病予防接種率、低すぎ！？

実は読谷村の狂犬病予防接種率は約31%と、全国（約70%）・沖縄県（約50%）と比べて、とても低い数値となっています。



### 危険！犬の放し飼い

公園などで犬の放し飼いや、ひとり散歩をさせている飼い主もいます。犬が逃げてしまうこともありますので大変危険です。散歩の際は必ずリードをつけましょう。



### 猫の放し飼いだって大変！

猫の放し飼いにより、フン尿被害、鳴き声などの被害が多発しています。また、野良猫と繁殖する危険もあります。繁殖を望まない場合は、不妊去勢手術を行いましょう。



### 猫、増えすぎ問題！

猫は繁殖能力が高い動物です。繁殖制限されていない猫が、無秩序に子どもを産み、猫が引き起こす迷惑行為が多発しています。



近年ではペットの飼い方のマナーなどが守られず、周辺に迷惑をかけてしまうトラブルが多数報告されています。

そこで読谷村では、このような課題に対して、さまざまな取り組みを行っています。その一例を紹介します。



## 年に1度の狂犬病予防集合注射



読谷村では、狂犬病予防集合注射を毎年行っています。

令和3年度は5月に実施し、村内15の公民館で511匹に狂犬病予防注射を行いました。

## 犬の飼い方講座



今年度、読谷村では犬の飼い方講座を実施予定です。

飼い主の方々の日頃のお悩みを解決します。

## さくらねこ無料チケット配布



読谷村は、公益財団法人どうぶつ基金が手術費用等を全額負担する「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加し、地域猫活動を行うボランティア団体等と連携してTNR事業を行っています。



「さくらねこ無料不妊手術事業」とは、飼い主のいない猫に対し「さくらねこ TNR (Trap / 捕獲し、Neuter / 不妊去勢手術を行い、Return / もとの場所に戻す、その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする)」を実施することで、繁殖を防止し、「地域の猫」「さくらねこ」として一代限りの命をまっとうさせ、飼い主のいない猫に関わる苦情や殺処分の減少に寄与する活動です。

令和元年度に100頭、令和2年度に157頭に不妊去勢手術を実施しました。  
また今年度からは、猫の捕獲器の貸し出しも行っていきます。

これでバッチリ!



# 犬・猫の飼い方マナー

お友達や仲間同士、たくさんの方々へ、マナーの大切さを共有し発信しましょう

## 犬を飼ったら登録しましょう



狂犬病予防法に基づき、犬を取得した日から30日以内に犬の登録申請を行う必要があります。必ず登録しましょう。

問い合わせは読谷村役場 生活環境課 (☎ 982-9214) まで

## 不妊・去勢手術を行いましょう



特に猫の場合は1年に2、3回出産し、1頭のメス猫から1年後には20頭以上に増えることがありますが、繁殖力の高い動物です。

「これ以上の頭数は飼えない」という状況になる前に、不妊・去勢手術を行いましょう。

## 災害時は、役場へ一緒に避難



災害時において、読谷村役場へ避難の際、一緒に連れて行くことができます。

## 暑い時間帯の散歩をひかえる



地面付近は熱がこもりやすく、道路温度が50～60℃になることもあり、とても危険です。

夕方など、涼しい時間帯を選んで散歩をしましょう。

## 落とし物の処置はしっかりと



散歩時のフンの放置はみんなの迷惑になります。

フンを処理する袋などを持参し、新聞紙などに包んで丈夫な紙袋か、ポリ袋に入れて可燃ごみとして処理してください。

## 異変があったら動物病院へ



普段と様子が違う、皮膚炎など、異変を感じたら、すぐに動物病院へ連絡しましょう。

### 年に一度、予防注射を受けよう



狂犬病予防法では、毎年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。

近年、日本国内には狂犬病の発生事例はありませんが、近隣諸国では狂犬病がまん延しており、日本への侵入リスクはゼロではありません。

必ず狂犬病予防注射は受けましょう。

### 猫は室内で飼おう



猫によるふん尿や、ごみあさり、鳴き声など、周囲への被害を無くすことは飼い主にとって大事なマナーです。

環境を整えて、できるだけ室内飼育に努めましょう。

### 車内放置、絶対ダメ！



ペットの車内放置は動物虐待です。絶対にやめましょう。

### 飼い主がわかるようにしよう



飼い犬や猫だと分かるように、しっかりと所有明示（首輪と連絡先を書いた名札）をしましょう。

たとえ室内飼育であっても、開いた窓やドアからの脱走や、突然の災害などで驚いて逃げってしまうことも考えられます。また、飼い犬・猫と野良犬・猫の判別もしやすくなります。



### だいすきなかぞくと、いつまでも

動物の飼い主には、寿命を迎える「最後の時」まで飼育続ける責任があります。

ペットを迎え入れる前には、それらを引き受ける覚悟が必要です。「飼わない」「今は飼えない」と判断することも、動物への愛情です。



### 危ないよ！放し飼い



散歩時だけでなく、公園などでも必ず犬にリード（引き綱）をつけてください。

犬が交通事故に遭ったり、人に危害を及ぼしたりする恐れがあります。